

令和8年度「歴史総合セミナー」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
歴史総合セミナー		選択	2	普通科文型・G C科
教科書 副教材等	教科書：わたしたちの歴史日本から世界へ（山川出版社） 資料集：明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院）			

1 学習目標

歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、国際社会を主体的に生きるために必要な資質・能力を育成することを目指す。

2 学習概要

・近現代の歴史の変化に関わる事柄について、世界と其中的の日本を広い視点から捉え、現代の様々な課題の形成に関わる近現代の歴史を理解していきます。

・いろいろな資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる力を更に身に付けるようにします。

・学習内容や調べた内容を多面的・多角的に考察したり、考察したことを説明したり、それらを基に議論したりします。

3 学習方法

・受け身にならないためにも事前に教科書を一通り読んで、問題意識を持って授業に望んでください。

・授業は真剣に、一言一句も聞きもらさず、メモを取るなどしてポイントをつかんでください。

・問題意識を持つためにも、質問することを恐れないでください。疑問があったら積極的に質問したり、

Chromebook などを使用して調べてください。

・副教材のノートや授業のメモをしっかりとめてください。

・日頃の「リアクションシート」をおろそかにせず、提出を必ずしてください。

・定期試験前には歴史用語はもちろん、その意味もよく理解して覚えてください。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能（①）」、「思考・判断・表現（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価を行います。具体的に評価方法以下の通りです。

「知識・技能（①）」：定期試験・小テストなど

「思考・判断・表現（②）」：授業プリント・リアクションシート・発表など

「主体的に学習に取り組む態度（③）」：ノート・提出物・授業態度・リアクションシート・発表など

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能（①）	思考・判断・表現（②）	主体的に学習に取り組む態度（③）
評価規準	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい（内容のまとめりごと）	考査等
一学期	1 第三世界の登場	○第二次世界大戦後におけるアジア諸地域の独立過程について理解する。	
	2 冷戦の固定化と「雪どけ」	○冷戦構造の拡大と固定化が核軍備拡大競争につながったことについて理解する。	
	3 冷戦の展開	○「雪どけ」からスターリン批判に至るソ連の政策転換の概要について理解する。	

	4 55 年体制と安保闘争 5 高度経済成長の光と影 6 ベトナム戦争とアメリカ 7 経済構造の変化 8 日本の経済大国化 9 アジアの経済成長 10 社会主義の停滞と新自由主義 11 冷戦の終結 12 冷戦後の地域紛争 13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題	○冷戦構造が戦後日本の政治に与えた影響について考察し、理解する。 ○高度経済成長の過程について理解する。 ○ベトナム戦争が北側の勝利に終わった背景について考察し、理解する。 ○ドル＝ショックがおきた原因と国際経済の変化について理解する。 ○日本が安定成長の時代に経済大国化した過程について理解する。 ○アジアで経済成長を成し遂げた国や地域の特徴について考察し、理解する。 ○社会主義が停滞した原因について考察する。 ○ゴルバチョフの改革と東ヨーロッパ諸国の民主化の連動について考察し、理解する。 ○冷戦終結後に世界各地で地域紛争が頻発した背景について考察し、理解する。 ○冷戦終結後の世界で地域統合の役割が大きくなったことについて理解する。 ○現代世界の諸課題と解決に向けての方策について考察し、理解する。 ○55 年体制崩壊後の日本の政治の大まかな動きを、バブル経済崩壊後の経済状況と関連づけて理解する。	1 学期期末考查
二学期	近代化への問い ① 交通と貿易 ② 産業と人口 ③ 権利意識と政治参加や国民の義務 ④ 学校教育 ⑤ 労働と家族 ⑥ 移民 国際秩序の変化や大衆化への問い ①国際関係の緊密化大衆化 ②アメリカ合衆国とソ連の台頭 ③植民地の独立 ④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ⑤生活様式の変化 グローバル化への問い ①冷戦と国際関係 ②人と資本の移動 ③高度情報通信 ④食料と人口 ⑤資源・エネルギーと地球環境 ⑥感染症 ⑦ 多様な人々の共存	資料等を通じて様々な側面から近代化について理解する。 資料等を通じて様々な側面から国際秩序の変化について理解する。 資料等を通じて様々な側面からグローバル化について理解する。	2 学期中間考查 2 学期期末考查
三学期	いまの私たちにつながる課題 対立・協調／開発・保全	課題を設定し理解を深める。	